

テニスルール Quiz 1

Q 1 【難度A】

A君とB君の試合で6 - 6 タイブレークになり、A君が3 - 0でリード。さてこのときチェアアンパイア（主審）は、スコアをどうアナウンスすればいいでしょう。

Q 2 【難度B】

A君とB君の試合は、タイブレークに入ってから接戦が続き、とうとう6 - 6です。ここでエンドを交替し、次のポイントをA君が取りました。さてこのときチェアアンパイア（主審）は、スコアをどうアナウンスすればいいでしょう。

アドバンテージ A 7 - 6 A

Q 3 【難度C】

A君とB君の試合でトスに勝ったA君が選択できる権利は「第1ゲームでサーブをするかレシーブをするかを選ぶ権利」または「第1ゲームのエンド（ネットの向こう側か、こっち側か）を選ぶ権利」です。でも、もう一つあります。それは何でしょう。

Q 4 【難度D】

A君とB君の試合。A君2 - 4ダウンのところB君が足を捻挫してリタイア（途中棄権）。A君の勝ちになりました。この試合の公式記録は次のうちのどれでしょう。

6 - 0でA君の勝ち 2 - 4でA君の勝ち 6 - 4でA君の勝ち

—— 【解答と解説】 ——

（Q 1）「さん・ゼロ」なんて言うのは、もうやめましょうね。正解は「スリー・ゼロ」。タイブレーク中は「ラブ」という言葉を使いません。よって「スリー・ラブ」はNGです。

（Q 2）正解は 。タイブレーク中に「デュース」や「アドバンテージ」のアナウンスはありません。だって9 - 9や12 - 12のときに「デュース」なんて言ったら、いつエンドを交替していいのかわからなくなっちゃいますよね。

（Q 3）実際には最初の2つで十分なのですが、「残り物に福がある」と考えたい日もあるわけです。もう一つの権利とは、選択の権利をB君に譲る権利。つまりトスに勝ったA君が「B君が選んでいいよ」と言う権利です。この時B君には「滅相もございません、どうぞA君がお決めになって下さい」などと遠慮する権利はありません。

（Q 4）トーナメントでは が正解です。正式には「2 - 4 RET.（リタイア）」でA君の勝ちということになります。でもラウンドロビン（リーグ戦）では正解が異なります。2 - 4のときにB君がリタイアしたので、残りのゲームはすべてA君が取ったと見なされ「6 - 4でA君の勝ち」です。だから正解は 。これは、勝敗で並び、得失ゲーム数が問題になったときにとても重要なルールです。